

埼玉県「社長年齢」分析調査（2024 年）

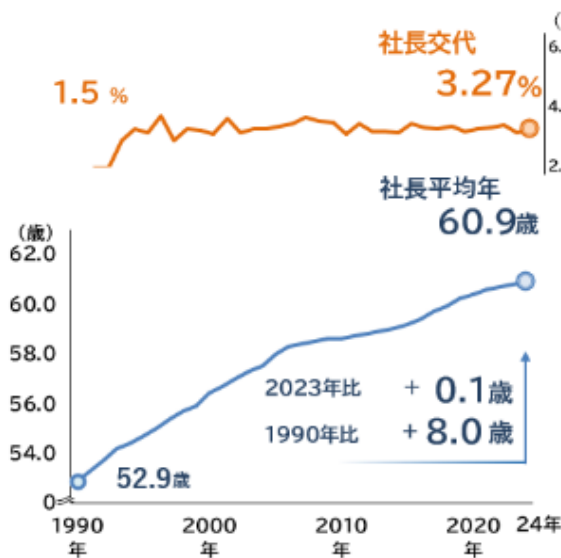
社長の平均年齢、60.9 歳で過去最高を更新

～ 全都道府県のなかで 22 番目に平均年齢高く～

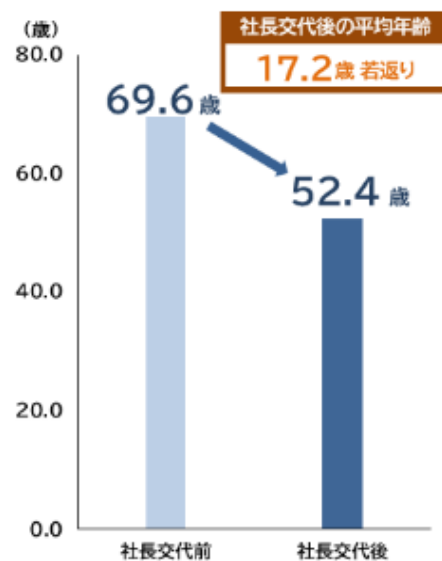
いわゆる「団塊の世代」の多くが 75 歳以上の後期高齢者となる今年は、高齢化が更に進むことによる様々な課題が表面化する懸念を受け「2025 年問題」の年と言われている。

帝国データバンク大宮支店が実施した調査では、2024 年における埼玉県企業の後継者不在率は 55.8%と改善傾向が続くものの、後継者不在による倒産も後を絶たない。社長の高齢化に歯止めがかからない状態は続いており、円滑な事業承継に向けて、早期に準備を進める必要性が高まっている。

社長平均年齢/社長交代率の推移



社長交代前後の平均年齢変化



調査結果（要旨）

- 2024 年時点の社長の平均年齢は 60.9 歳。前年を 0.1 歳上回り、過去最高を更新。社長が交代した割合は 3.27%で、前年の 3.16%から 0.11 ポイント増加
- 「50 歳以上」の社長は 83.5%で、前年から 1.0 ポイント増加
- 都道府県別、トップは秋田県と岩手県の 62.6 歳、埼玉県は群馬県、徳島県と並び高い方から数え 22 番目

■ 本調査では、企業概要ファイル「COSMOS2」（約 148 万社収録）から 2024 年 12 月時点における企業の社長データ（個人、非営利、公益法人等除く）を抽出し、集計・分析した

埼玉県の社長年齢は 60.9 歳、年々高齢化が進み過去最高を更新

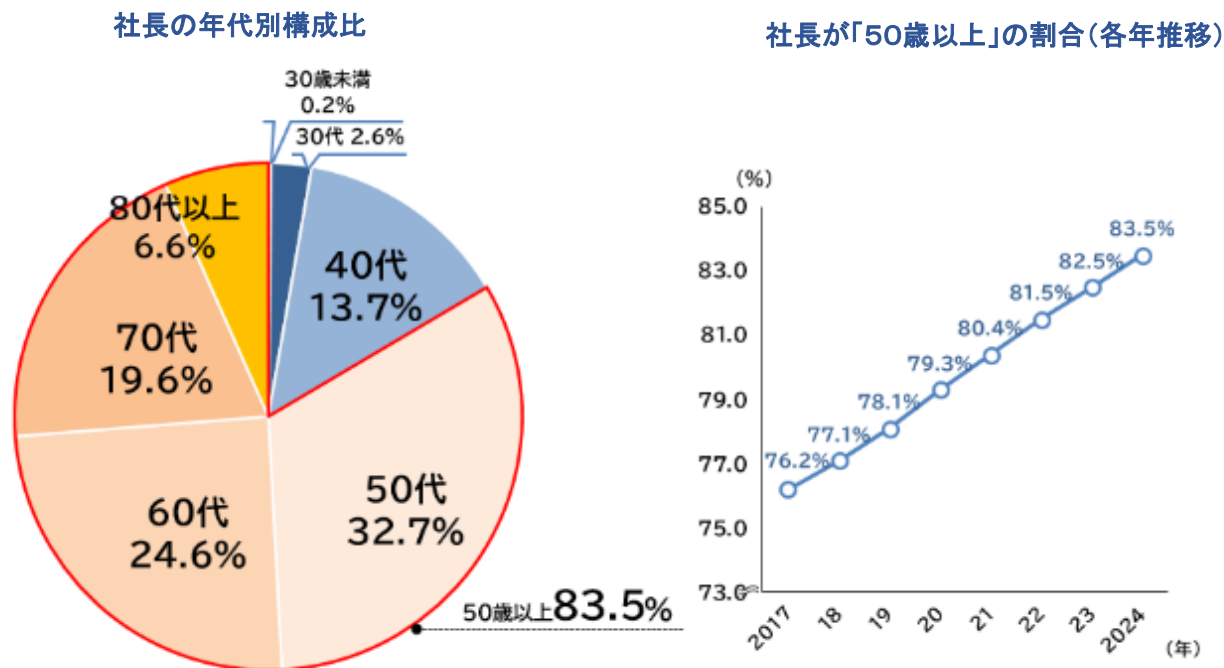
埼玉県の社長平均年齢は、2024 年時点で前年を 0.1 歳上回る 60.9 歳となった。統計として遡れる 1990 年から毎年上昇が続いており、34 年連続で過去最高を更新した。全国の社長平均年齢は 60.7 歳で、埼玉県はそれを 0.2 歳上回る。社長交代率は 3.27% となり、前年から 0.11 ポイント増加した。増加は 2 年ぶり。

また、社長が交代する際の年齢は平均 69.6 歳となり、前年（69.2 歳）から 0.4 歳上昇した。社長交代後の新社長の年齢は平均 52.4 歳で、社長交代によって 17.2 歳若返った。

<年代別構成比> 「50 歳以上」の社長は 83.5%、構成比の上昇続く

2024 年時点における社長の年代別構成比をみると、「50 歳以上」が 83.5% となった。年々構成比は上昇しており、2017 年からは 7.3 ポイント増加した。2024 年は、いわゆる「団塊ジュニア」世代の多くが 50 歳を超える時期であり、4 年連続で 8 割を上回るなど上昇が続いた。また、「60 歳以上」で区分しても 50.8% と半数を超えている。

他方、「30 歳未満」は 0.2%、「30 代」は 2.6%にとどまり、30 代以下の社長は全社長の約 3% にとどまった。近年は行政もスタートアップ支援に力を入れ、全国的にも若手経営者に注目が集まるケースはあるものの、実態としては経営者の高齢化が進行している状況にある。



＜業種別＞ 「不動産」が 64.0 歳と高水準、最も低いのは「運輸・通信」で 59.4 歳

社長平均年齢を業種別でみると、「不動産」が 64.0 歳で最も高く、全体平均の 60.9 歳を 3.3 歳上回った。このほか、「製造」「卸売」など 8 業種中 7 業種で平均年齢が 60 歳を上まわった。最も平均年齢が低かったのは「運輸・通信」の 59.4 歳で、全業種のなかで唯一平均年齢が 60 歳を下回った。

また、1995 年との比較では、全業種のなかで最も高齢化が進んだのは「不動産」の 9.2 歳上昇で、次いで「建設」が 6.9 歳、「卸売」が 6.8 歳、「サービス」が 6.7 歳、それぞれ上昇した。

【業種別】社長の平均年齢(年推移)

	1995	2000	2005	2010	2015	2020	(歳)	
							2024	対95年比
全体	54.7	56.4	58.0	58.6	59.2	60.4	60.9	+6.2
建設	53.2	55.3	57.0	57.2	57.9	59.3	60.1	+6.9
製造	56.6	58.1	59.7	60.9	61.3	61.8	61.9	+5.3
卸売	54.9	56.8	58.7	59.9	60.7	61.4	61.7	+6.8
小売	54.2	55.9	57.4	58.5	59.0	60.1	60.3	+6.1
運輸・通信	54.8	56.1	57.1	57.6	57.8	58.8	59.4	+4.6
サービス	53.4	55.4	56.8	57.5	58.1	59.5	60.1	+6.7
不動産	54.8	57.4	59.2	60.1	61.2	63.2	64.0	+9.2
その他	56.6	57.1	58.1	58.1	58.2	59.9	60.0	+3.4

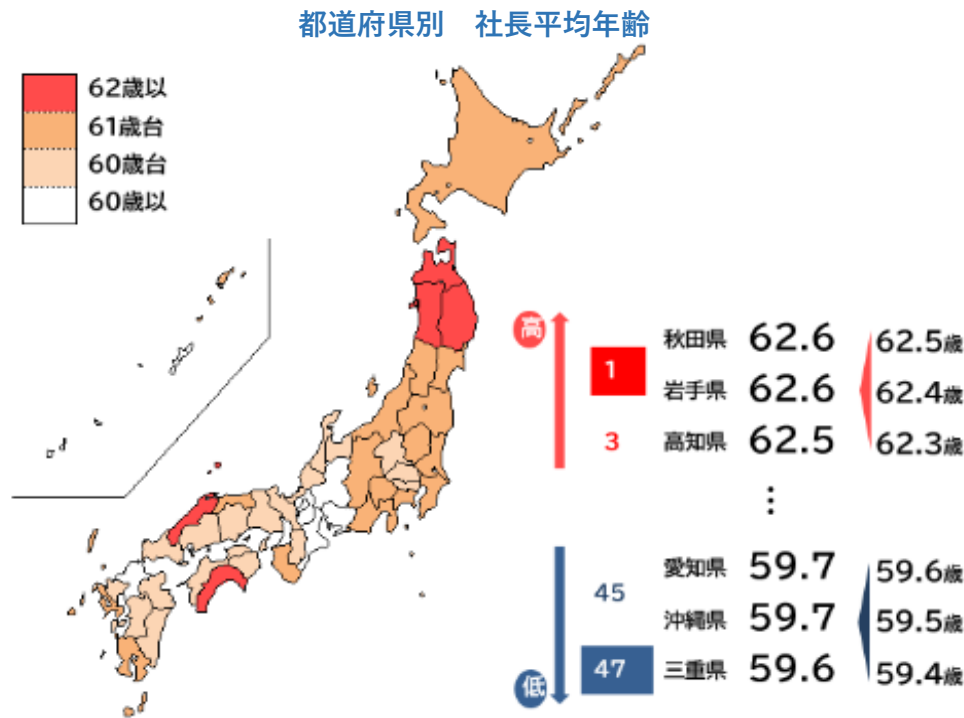
＜都道府県別＞ 秋田県・岩手県がトップ。埼玉県は群馬県、徳島県と並び 22 番目

都道府県別でみると、秋田県（2023 年比+0.1 歳）と岩手県（同+0.2 歳）が 62.6 歳で最も高かった。岩手県は 5 年ぶりのトップとなった。次いで、高知県（62.5 歳、同+0.2 歳）、青森県（62.3 歳、同+0.1 歳）が続いた。とりわけ、東北地方の 6 県がすべて全国平均（60.7 歳）を上回り、社長の高齢化が顕著となっている。

一方、最も低かったのは三重県の 59.6 歳（同+0.2 歳）で、8 年連続で最も低かった。

その他、愛知県や沖縄県（いずれも 59.7 歳）など、60 歳を下回ったのは 7 府県だった。総じて、都道府県別の社長平均年齢は「東高西低」の傾向が強い。

なお、埼玉県（60.7 歳）は全都道府県なので、群馬県、徳島県と並んで平均年齢が高い方から数えて 22 番目となった。



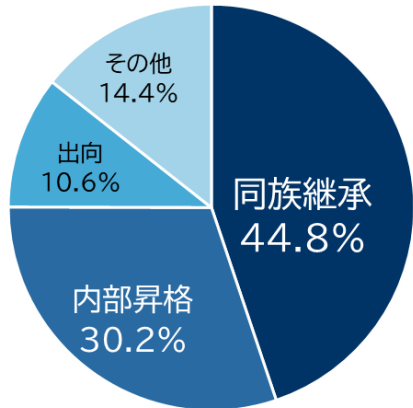
＜就任経緯＞ 交代した社長の就任経緯、同族承継と内部昇格が多くを占める

交代した社長の就任経緯を分析すると、「同族継承」が 44.8%で最も高く、「内部昇格」が 30.2%で続いた。「出向」は 10.6%だった。

就任経緯別に社長交代前後の平均年齢をみると、「同族継承」が交代前の平均年齢では 72.0 歳で最も高く、「出向」が 61.8 歳で最も低かった。

交代後では「出向」が 58.5 歳で最も高く、「同族継承」が 47.4 歳で最も低かった。交代前と交代後の年齢差でみると、「同族継承」が 24.6 歳で最も開きが大きく、若返りが大幅に進んでいる。

【就任経緯別】交代前後の社長年齢



就任経緯	就任経緯	平均年齢		年齢差
		交代前	交代後	
	就任経緯	交代前	交代後	年齢差
	同族継承	72.0	47.4	24.6
	内部昇格	65.8	55.4	10.4
	出向	61.8	58.5	3.3
	その他	63.8	56.4	7.4
	全体	69.6	52.4	17.2

※「全体」は2024年の社長交代企業を指す

まとめ

埼玉県の社長の平均年齢は 60.9 歳となり、過去最高を更新した。社長が「50 歳以上」である企業の割合は引き続き 8 割を超えるなど、「社長の高齢化」が一層深刻になっている。社長交代率は 3.27%と低水準にとどまるなかで、今後も社長の平均年齢は上昇し続ける可能性が高い。

2019 年、中小企業庁は「2025 年までに 70 歳を超える中小企業・小規模事業者の経営者は約 245 万人となり、うち約半数の 127 万人が後継者未定」との試算を発表しているが、低水準にとどまる社長交代率を背景に平均年齢の上昇に歯止めがかからない状態にある。今後は事業承継が進まらずに事業継続を断念せざるを得ないケースがさらに増加することも考えられ、十分な期間を設けたうえでの事業承継の実施に向けた準備が求められる。

【内容に関する問い合わせ先】

株式会社帝国データバンク 大宮支店 情報部 丸山、梅林

TEL048-643-2080（代表） FAX048-645-7578

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

【参考】都道府県別社長年齢

	2023年	2024年	24年順位	2023年
北海道	61.4	61.5	8	3.72
青森県	62.2	62.3	4	3.68
岩手県	62.4	62.6	1	3.79
宮城県	61.1	61.2	16	3.92
秋田県	62.5	62.6	1	3.96
山形県	61.3	61.3	14	3.80
福島県	61.3	61.5	8	3.82
茨城県	61.3	61.4	13	3.54
栃木県	60.9	61.1	19	3.45
群馬県	60.8	60.9	22	3.67
埼玉県	60.8	60.9	22	3.27
千葉県	61.0	61.2	16	3.34
東京都	60.0	60.1	38	4.68
神奈川県	61.2	61.2	16	3.42
山梨県	61.3	61.5	8	3.07
長野県	61.4	61.6	6	3.44
新潟県	61.5	61.6	6	3.80
富山県	60.7	60.8	25	3.91
石川県	59.8	60.0	40	3.62
福井県	60.5	60.7	28	3.69
岐阜県	59.7	59.8	42	3.43
静岡県	61.1	61.3	14	3.63
愛知県	59.6	59.7	45	3.79
三重県	59.4	59.6	47	3.20

	2023年	2024年	24年順位	2023年
滋賀県	59.6	59.8	42	3.67
京都府	60.5	60.8	25	3.24
大阪府	59.7	59.8	42	3.73
兵庫県	60.4	60.5	32	3.55
奈良県	60.6	60.8	25	3.26
和歌山県	61.3	61.5	8	3.50
鳥取県	61.0	61.1	19	4.06
島根県	61.8	62.0	5	3.88
岡山県	60.0	60.2	36	3.44
広島県	60.6	60.7	28	3.25
山口県	60.6	60.7	28	3.60
徳島県	60.6	60.9	22	2.65
香川県	60.3	60.4	34	3.26
愛媛県	60.6	60.7	28	3.43
高知県	62.3	62.5	3	3.82
福岡県	59.8	59.9	41	3.68
佐賀県	60.5	60.5	32	3.54
長崎県	61.4	61.5	8	3.37
熊本県	60.2	60.1	38	3.88
大分県	60.4	60.3	35	4.09
宮崎県	60.2	60.2	36	4.16
鹿児島県	60.9	61.0	21	3.72
沖縄県	59.5	59.7	45	4.69